

別 紙

第60回 静岡県公衆衛生研究会 優秀演題ホームページ掲載要旨

分 科 会 名	第 2 分科会	演題番号	2 0 1
題 名	5歳児健診結果の考察および今後の支援への活用について ー過去3年間の5歳児健診および3歳児健診・就学時健診の結果の紐づけから見えたものー		
所 属	伊豆市		
氏 名	子育て支援課 ○佐藤 恵 堀江 真理 三浦 志保 健康長寿課 佐藤 美奈子 東部健康福祉センター修善寺支所 神田 洋美 静岡社会健康医学大学院大学 佐々木 八十子		
要 旨 (簡 潔 に)	<p>伊豆市で5歳児健診を始めて10年が経過したことをきっかけに、過去3年間の5歳児健診の結果について分析を行った。先行文献と伊豆市とのSDQの比較では項目によって差があることが分かった。保護者と園とのSDQの比較では、向社会性の項目で園の方が心配は強いことがわかった。また、5歳児健診の結果と3歳児健診の紐づけを行い分析したところ、3歳児健診で異常なしでも、5歳児健診で要相談・要医療となるものが約2割いることがわかった。</p> <p>さらに、5歳児健診と就学時健診の結果との紐づけを行い、5歳児健診で支援を受けていることで就学時知能検査の結果面接が必要になった場合の保護者の意識に差が出るのかの検証を行った。有意差は出なかったもののなんらかの影響があると思われた。</p> <p>全体を通し、5歳児健診を行うことの意義を再確認することができた。この分析結果を今後の支援に活かしていきたい。</p>		